



## 2025年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年4月14日

上場会社名 株式会社串カツ田中ホールディングス 上場取引所 東  
コード番号 3547 URL <http://kushi-tanaka.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 坂本壽男  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 岩本一将 (TEL) 03-5449-6410  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年11月期第1四半期の連結業績(2024年12月1日~2025年2月28日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年11月期第1四半期	4,578	19.8	248	3.8	318	13.6	121	△30.4
2024年11月期第1四半期	3,821	14.7	239	24.9	280	44.7	175	81.7

(注) 包括利益 2025年11月期第1四半期 120百万円(△30.9%) 2024年11月期第1四半期 174百万円(80.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年11月期第1四半期	13.26	—
2024年11月期第1四半期	19.06	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年11月期第1四半期	8,137	2,484	30.4
2024年11月期	7,345	2,483	33.6

(参考) 自己資本 2025年11月期第1四半期 2,470百万円 2024年11月期 2,467百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年11月期	—	0.00	—	13.00	13.00
2025年11月期	—	—	—	—	—
2025年11月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2025年11月期の配当予想額は、未定であります。

## 3. 2025年11月期の連結業績予想(2024年12月1日~2025年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,500	18.1	400	△11.4	500	1.5	300	8.1	32.46
通期	20,100	19.2	1,060	25.0	1,150	35.9	620	63.0	67.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年11月期1Q	9,428,280株	2024年11月期	9,428,280株
2025年11月期1Q	238,211株	2024年11月期	238,211株
2025年11月期1Q	9,190,069株	2024年11月期1Q	9,190,074株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況

## (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境に改善が見られ緩やかに回復しました。一方で、原材料高や国際情勢、金融市場の変動などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、各種イベントにより外食需要が好調に推移しました。また、外国人観光客数が増加しインバウンド需要も増加傾向にありました。一方で人手不足を背景に物価の高騰や物流費・人件費の上昇など経営環境は引き続き厳しい状況となっております。

このような状況のなか、「全国1,000店舗体制を構築し、串カツ田中の串カツを日本を代表する食文化とする」という長期的な目標に向け、中期経営計画（2024年12月から2027年11月）に掲げた各重点テーマにおける取り組みを実施しました。

串カツ田中の安定成長としては、おもてなしの徹底と楽しいひとときの提供を重要視した営業を行うとともに、持続的な新規出店を行うため、人材の確保や従業員の待遇向上・人材への投資の取り組みの一環として、当期も2024年12月の賃金から定期昇給を含め平均4.7%の賃上げを実施しました。

新業態・新規事業の確立・展開による成長としては、前期にオープンした「京都天ぶら天のめし」（以下、天のめし）、「高揚する瞬間を、ザ・天ぶらテイメント」をキャッチコピーに、あつあつ揚げたての天ぶらと、ふっくら炊き立ての羽釜ごはんを提供する天ぶら業態です。国内のお客様に加え、インバウンド需要を多く取り込むなど、多店舗展開に向けさらなる磨き上げを行っております。今後も魅力的で競争力のある業態を開発し、当社グループの持続的な成長を目指してまいります。

当第1四半期連結累計期間の店舗の出退店状況は以下のとおりであります。

ブランド	期首	新店	退店	合計
串カツ田中	338	2	8	332
鳥と卵の専門店 鳥玉	4	—	1	3
タレ焼肉と包み野菜の専門店 焼肉くるとん	3	—	—	3
京都天ぶら 天のめし	1	—	—	1
TANAKA	3	—	—	3
合計	349	2	9	342

内装工事業は、当社グループの店舗出店に伴う内装工事等を内製化することにより、グループシナジーを創出し、当社グループの持続的な成長と企業価値の向上を目指すことにあります。直営店の出店の内製化を実行し、出店に伴うコスト低減を実現するとともに、グループ外からの受注も好調に推移しております

ハウスミール事業は、株式会社Antway が展開する手作りのお惣菜をサブスクリプション形式で提供する冷蔵宅配サービス「つくりおき.jp」と業務提携しており、適正人員の確保に向け人材採用を強化した結果、キッチンの生産性向上と稼働率向上を実現しております。

以上の結果、売上高は4,578,580千円（前年同期比119.8%）、売上総利益は2,793,464千円（同117.5%）、販売費及び一般管理費は2,545,435千円（同119.0%）となり、営業利益は248,029千円（同103.8%）、経常利益は318,201千円（同113.6%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は121,853千円（同69.6%）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

串カツ田中は、継続的な新規出店、2024年12月に実施した創業祭、前期より継続している認知拡大を目指した各種キャンペーンにより、客数が増加しました。

この結果、売上高は、前第1四半期連結累計期間と比べ437,596千円増加し4,054,115千円（前年同期比112.1%）となりました。

国内その他は、新業態・新規事業の確立・展開による当社グループの持続的な成長に向けて「鳥と卵の専門店鳥玉」、「タレ焼肉と包み野菜の専門店焼肉くるとん」、「京都天ぶら天のめし」の業態確立を目指しております。

この結果、売上高は、前第1四半期連結累計期間と比べ31,010千円増加し156,631千円（前年同期比124.7%）となりました。

ハウスミール事業は、適正人員の確保に向け人材採用を強化した結果、キッチンの生産性向上と稼働率向上が図られ、安定的な売上高と営業利益を確保しております。

この結果、売上高は、252,844千円（計画比103.4%）となりました。

内装工事業は、串カツ田中及び新規事業の直営店舗出店に伴う内装工事の他、グループ外部の受注についても、リフォーム需要の増加や業界における人材不足の影響により増加しております。

この結果、売上高は、前第1四半期連結累計期間と比べ35,157千円増加し、114,990千円（前年同期比144.0%）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

総資産は、前連結会計年度に比べ792,299千円増加し、8,137,522千円となりました。これは、流動資産が788,196千円増加し、4,314,113千円となったこと及び固定資産が6,851千円増加し、3,810,584千円となったことによるものであります。

流動資産の主な増減内容は、現金及び預金の増加455,171千円、売掛金の増加16,135千円であります。

固定資産の主な増減内容は、店舗退店に伴う有形固定資産の減少21,691千円であります。

一方、負債については、流動負債が282,584千円増加し、3,363,755千円となったこと及び固定負債が508,756千円増加し、2,289,411千円となったことにより5,653,166千円となりました。

流動負債の主な増減内容は、未払消費税等の増加137,291千円等によるものであります。

固定負債の主な増減内容は、新規借入による長期借入金の増加505,015千円であります。

純資産の主な増減内容は、親会社株主に帰属する四半期純利益を121,853千円計上したこと、配当金の支払いにより利益剰余金が119,470千円減少したことにより、2,484,356千円となりました。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,804,022	2,259,193
売掛金	1,028,022	1,044,157
商品及び製品	2,089	931
仕掛品	—	219,141
原材料及び貯蔵品	134,333	140,154
未収入金	89,754	178,790
その他	495,605	521,815
貸倒引当金	△27,910	△50,069
流動資産合計	3,525,917	4,314,113
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,201,601	2,206,385
その他(純額)	480,781	454,305
有形固定資産合計	2,682,382	2,660,691
無形固定資産		
ソフトウェア	12,960	16,613
無形固定資産合計	12,960	16,613
投資その他の資産		
差入保証金	849,082	855,283
その他	488,432	507,461
貸倒引当金	△229,124	△229,465
投資その他の資産合計	1,108,390	1,133,279
固定資産合計	3,803,733	3,810,584
繰延資産		
開業費	15,572	12,824
繰延資産合計	15,572	12,824
資産合計	7,345,222	8,137,522

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	816,841	743,867
短期借入金	213,348	173,349
1年内返済予定の長期借入金	781,982	807,124
未払金	200,682	231,599
未払費用	466,657	460,194
未払法人税等	246,606	97,764
賞与引当金	117,168	79,549
店舗閉鎖損失引当金	—	6,542
その他	237,884	763,764
流動負債合計	3,081,170	3,363,755
固定負債		
長期借入金	1,147,481	1,652,496
資産除去債務	282,043	284,785
その他	351,129	352,129
固定負債合計	1,780,654	2,289,411
負債合計	4,861,825	5,653,166
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	306,594	306,594
資本剰余金	844,972	844,972
利益剰余金	1,699,825	1,702,208
自己株式	△383,614	△383,614
株主資本合計	2,467,778	2,470,160
非支配株主持分	15,619	14,195
純資産合計	2,483,397	2,484,356
負債純資産合計	7,345,222	8,137,522

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年12月1日 至2024年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年12月1日 至2025年2月28日)
売上高	3,821,972	4,578,580
売上原価	1,444,484	1,785,116
売上総利益	2,377,488	2,793,464
販売費及び一般管理費	2,138,467	2,545,435
営業利益	239,021	248,029
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,767	4,609
協賛金収入	29,939	51,535
為替差益	11,370	—
保険解約返戻金	—	40,429
その他	7,171	12,791
営業外収益合計	52,249	109,365
営業外費用		
支払利息	3,171	4,209
関係会社貸倒引当金繰入額	2,800	23,000
持分法による投資損失	1,685	3,817
為替差損	—	4,500
その他	3,557	3,666
営業外費用合計	11,214	39,193
経常利益	280,056	318,201
特別利益		
固定資産売却益	—	3,265
特別利益合計	—	3,265
特別損失		
固定資産売却損	4,415	—
固定資産除却損	1,947	—
店舗閉鎖損失	—	1,821
店舗閉鎖損失引当金繰入額	3,040	9,460
役員退職慰労金	—	60,000
特別損失合計	9,402	71,281
税金等調整前四半期純利益	270,653	250,185
法人税、住民税及び事業税	78,574	93,053
法人税等調整額	17,783	36,703
法人税等合計	96,357	129,756
四半期純利益	174,295	120,429
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△864	△1,423
親会社株主に帰属する四半期純利益	175,160	121,853



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)
四半期純利益	174,295	120,429
四半期包括利益	174,295	120,429
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	175,160	121,853
非支配株主に係る四半期包括利益	△864	△1,423

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## I 前第1四半期連結累計期間(自2023年12月1日至2024年2月29日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	合計
	串カツ田中	国内その他	内装工事 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,616,519	125,620	79,833	3,821,972	—	3,821,972
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	100,794	100,794	△100,794	—
計	3,616,519	125,620	180,627	3,922,766	△100,794	3,821,972
セグメント利益及び損失	266,926	△22,392	2,198	246,732	△7,711	239,021

(注) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去△8,528千円、固定資産の未実現利益に係る調整817千円です。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2024年12月1日至2025年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	合計
	串カツ田中	国内その他	ハウスミール 事業	内装工事 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,054,115	156,631	252,844	114,990	4,578,580	—	4,578,580
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4,773	—	32,652	37,425	△37,425	—
計	4,054,115	161,404	252,844	147,642	4,616,005	△37,425	4,578,580
セグメント利益及び損失	261,907	△28,485	24,986	△8,943	249,464	△1,435	248,029

(注) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去△3,626千円、固定資産の未実現利益に係る調整2,191千円です。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、前連結会計年度より飲食事業以外の事業の収益が拡大し重要性が増したため、セグメント情報を開示しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)
減価償却費	81,729千円	89,867千円

(重要な後発事象)

(連結子会社間の吸収合併)

当社は、2024年12月13日開催の取締役会において、連結子会社である株式会社串カツ田中を吸収合併存続会社、同じく連結子会社である株式会社セカンドアローを吸収合併消滅会社とする吸収合併を行いました。

概要は、次のとおりであります。

## 1. 取引の概要

### (1) 結合当事企業の名称及び事業の内容

#### ①結合企業

名 称：株式会社串カツ田中

事業の内容：飲食事業

#### ②被結合企業

名 称：株式会社セカンドアロー

事業の内容：飲食事業

### (2) 企業結合日

2025年3月1日

### (3) 企業結合の法的形式

株式会社串カツ田中を存続会社、株式会社セカンドアローを消滅会社とする吸収合併

### (4) 結合後企業の名称

株式会社串カツ田中

### (5) その他取引の概要に関する事項

本合併は、当社グループの飲食事業に係る経営資源の集中と有効活用を図ることにより、事業領域の拡大を目指した新業態の開発を加速させ、企業価値の向上を目指すものであります。

## 2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引として処理する予定であります。